



第3回学校運営協議会理事会

—3月10日(火) 午後7時～9時—

地域の子どもは地域で育てる！ われら学校の応援団！

平成27年3月13日
松ヶ崎小学校学校運営協議会
広報委員会



今回は、後期学校評価をもとに、1年間の活動の振り返りをおこないました。今年度、最後ということもあり、お集まりいただいた理事の皆様、お一人お一人のお考えやご意見もお聞かせいただきました。ここでは、その一部を紹介します。
(後期学校評価については、松ヶ崎だより～学校評価特集号～をご覧ください。)

○環境教育のプログラムが充実している。学校運営協議会、小大連携事業とのタイアップ等が後期の評価を上げていることにつながっているのだろう。3年生の学習テーマ「山」については、今後も継続して取り組んでいきたい。1年1年の積み重ねが、学生にとってもよい研究成果として表われている。前期から、よいスタートがされるようにすることが今後の課題である。

・3年生の総合的な学習の時間では、単元「わたしたちのたからもの『松ヶ崎の里山』」において、小大連携事業を生かした取組をおこなった。研究発表会(H26/12/5)では、授業の中で、京都工芸繊維大学の学生の話の聞いたり、実験を見せてもらったりして学ぶことができた。

今の松ヶ崎の里山は、木がこみ合って育っています。だから、一本一本の木の根が弱く、土砂崩れがおきやすい山になっています。・・・

より児童の課題解決に沿ったものになるように、指導者が何度も話し合い、ダイナミックな実験装置でおこなうことができた。十分な教材研究をおこない、教材準備をすることが児童の力となる。

・小大連携だけでなく、保幼小の連携も深まっている。1年生の生活科の学習では、年長さんを迎えて、子どもたちがいろいろな活動をおこなった。

*生活科「きせつとあそぼうーあきといっしょにー」では、子どもたちが、秋のたからもの(どんぐり・落ち葉・・・)と、ざいりょう銀行(家庭等で不用になった空き箱やペットボトル・・・)でつくったもの(ゲーム等)を、講堂で年長さんに紹介しました。1年生では、この他にも、年長さんを招待して、交流を深めています。

○地域の取組、環境教育の取組は、よくまとまっている。3月22日に(日)に、シンポジウムをおこなう。

【いのちにぎわう 宝ヶ池公園を未来へ 宝ヶ池から世界へ みんなでとりくもう楽しい森づくり

13:00～16:30 会場：国立京都国際会館 Room B-1】

松ヶ崎小学校の取組の冊子も紹介される。学校だけで終わるのではなく、地域に広く発信できるよい機会となるだろう。

・総合的な学習の時間におこなった4年生の「松ヶ崎 人・水 ふれあいプロジェクト」では、「泉川清掃プロジェクト」を子どもたちが企画した。自分たちが川にお世話になっていることに気づき、自分たちにできることをしようと考えた取組である。清掃プロジェクトは、昨年12月24日。学校運営協議会理事長の岩崎猛彦氏をはじめ、松ヶ崎消防団の方々、地域の方々のサポートのもと、やり終えた子どもたちは、もっとやりたいという思いをもった。このように、地域に出て、活動することは、学校教育目標の一つである「地域を愛する子」に向かっていくであろう。

・いろいろな取組をおこなうにあたって、地域の方と綿密に打ち合わせをおこない、学習を進めていることは、とてもありがたいこと。松ヶ崎地域を愛する子どもたちに育てていく一つの取組だと感じる。

○総合的な学習の時間の取組は、指導者がちがえば、ゴールが同じでも、ストーリーの展開の仕方がちがう。しかし、継続して行ってほしい。

- 学校によっては、地域とかけはなれた内容で、学習がおこなわれている。とても残念である。
- ・町中の学校では、自然を素材に学習するのは難しいであろう。松ヶ崎の地域は、自然にあふれている。「山へ行ってきました。」と、すぐに山に出かけることもできる。体験を通した学習はすばらしいことである。
- ・若い教員が研究会に参加し、頑張っている。その頑張りが、子どもたちにも伝わっていると感じる。

- PTA行事の参加者が少ないのが気になる。もっと関心をもっていただきたい。
- 参加者を呼びかけている。PTA役員は毎年かわり、やっと慣れてきたころにかわってしまうので、残念である。
- 4年生の交通安全教室には、たくさんの保護者の方がサポートしていただいた。

- 「あいさつ」については、今まで「おはようございます。」であったのが、「いつもありがとうございます。」や最近では、「一年間ありがとうございました。」「お母さんが『よろしくと言っておいてください。』と言っていました。」・・・このように言ってくれることがとてもうれしい。
- ・常に校長が、いろいろな場で「あいさつ」をし、「あいさつ」を大事にしている。毎月の朝会でも、毎回、「今日のあいさつ一番!」と、しっかりとあいさつできたことを誉めている。続けていくことが大事だと感じる。

1 年間の振り返って・・・

- ★「あいさつ」は、効果が上がっている。
- ★昨年とのつながりもあり、小大連携は、スムーズにできていた。
- ★「さし踊り」講習会では、たくさんの方が参加した。夏祭り、区民運動会で、踊れる人たちが増えている。6年生の総合的な学習の時間では、テーマとしても取り上げられていた。来年度も、取り上げていただけるとありがたい。
- ★今年度は、「学び」の関わりが少なかったように思う。いろいろな知識や経験をもっておられる地域の方が多いので、子どもたちの学習時間に、お呼びするとよいだろう。地域の方と一緒に学んだことは、子どもたちの心の中に届くであろう。また、子どもたちも生き生きと学習するであろう。
- ★1年間の子どもの成長は大きい。先日、1年生の教室を参観する機会があった。子どもたちは、気持ちをこめて詩を読んでいた。
- ★平成19年に学校運営協議会が発足し、8年になる。しかし、学校運営協議会を知らない方もいるのではないだろうか。地域のコミュニティセンターとして、開かれた学校として、松ヶ崎小学校のイメージアップを図っていききたい。
- ★PTA行事の参加者が少ないように思う。たくさんの方が関心をもって参加していただければ・・・。
- ★PTA行事参加は、長年の課題でもある。どのようにすれば、たくさんの方に参加していただけるか、考えていきたい。
- ★PTA役員の方々は、たくさんの方々の行事の中、大変がんばっていただいている。なれた頃に交代となるが、引継ぎを大事にしていきたい。
- ★登校時の見守りをしているが、知らない方も多い。何かの機会に、交流できればと考える。「つながり」を大事にすることが大切。
- ★いろいろな学習時間に子どもたちは、地域の方にお世話になった。新しいことを教えてもらおうと、子どもたちは、目を輝かせて取り組んでいる。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・



今年度も、たくさんの方々にお世話になりました。地域のおもいをしっかりと受けついで、「地域を愛する子」を目指して、子どもたちをしっかりと育てていきます。

来年度も引き続きよろしくお願ひいたします。

お集まりいただきました理事の皆様、貴重なご意見をありがとうございました。

観望会（土曜学習：3月2日（月）・18:30～）
～宇宙のロマンに浸って～

岩崎恭輔先生
（京都学園大学名誉教授、学校運営協議会理事）
のご尽力により、京都大学花山天文台より望遠鏡をお借りして、木星と月を観察しました。
岩崎達夫さん（防犯推進委員会会長 学校運営協議会理事）にも来ていただきました。
ありがとうございました。

昔のくらし（3年生 社会科）
毎年、ご自宅によせていただき、昔の道具を見せていただいています。子どもたちの質問にも丁寧に答えていただきました。とてもよい学習になりました。
岩崎皓先生ありがとうございました。